

【 2017男子世界選手権 】

2017年1月11日～1月29日

開催国 ・ 都市 フランス・ナント

試合結果報告 1 月 19 日 (木)

JAPAN	VS	NORWAY
14	前半	19
9	後半	19
	第一延長	
	第二延長	
23	合計	38

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
5	高智		2	2
6	加藤			0
8	渡部			0
10	小室			0
12	木村			0
17	植垣	1	2	3
19	徳田	2	1	3
21	甲斐			0
23	小塩	1		1
24	信太			0
25	元木	4		4
27	玉川	2	1	3
29	東江	1	1	2
30	成田	1		1
31	銘苅	2	1	3
32	土井		1	1
	合計	14	9	23

戦評

第25回男子世界選手権フランス大会予選グループ最終戦の5戦目は、ノルウェーとの対戦。スタートの日本の布陣は、左サイド小塩、右サイド元木、左45'信太、右45'徳田、センター東江、ピヴォット加藤、DFは東江に替わり成田、GKは木村でノルウェーに挑む。

この試合、日本は、攻撃でのミス後のノルウェーの速攻を警戒していたが、前半立ち上がりから2本の速攻、またポストシュートで連続得点を奪われ0-3とスタートからノルウェーペースで試合が進む。日本もようやく、6分過ぎ徳田がミドルシュートを決めるも、ノルウェーの素早いウィックスタートですかさず得点を奪われる。その後も、ノルウェーは日本のシュートミスからの速攻を中心に攻撃を組み立て、前半13分13秒、4-8となったところで日本はタイムアウトを要求、タイムアウト後、日本はリズムを変えるため、攻撃で銘苅、植垣、ピヴォットに玉川を投入し攻撃を組み立てなおすが、勢いのあるノルウェーに傾いた流れを戻すことができず、タイムアウト後も連続得点を奪われ、16分には、5-12と7点差となる。この流れを引き戻すため日本は7人攻撃を仕掛け、東江、玉川、小塩の連続得点で20分には8-12と4点差まで詰める。日本も攻撃でリズムをとり、植垣のミドル、成田の2次速攻からのロング、玉川のポストシュートと得点を重ねたところで、ノルウェーもタイムアウトを要求、タイムアウト後、再び、ノルウェーに速攻を許すが、日本も終盤、元木、銘苅の連続速攻で、前半を14-19の5点差で折り返す。後半立ち上がり、日本はチャンスこそあるものの、ノルウェーGKにことごとく阻まれ攻撃でリズムに乗れない。なんとか植垣のミドル、高智のミドルで対抗するが、後半の10分以降、ノルウェーの怒涛の攻撃に耐えきれず連続7失点をし、18-30と勝負がついてしまう。残りの10分、日本は徳田、土井、玉川、東江、銘苅と得点を奪うが、後半終盤での連続失点を縮めることができず、23-38の15点差で試合は終了する。ノルウェーの得点の5割以上が速攻、または速攻からの展開による得点で、本来、日本が得意とする素早い動きだが、1次速攻、その後の2次速攻ともに日本よりレベルの高いものであった。

試合結果

レフリー:

報告記入者 :

田中茂